

# 10月の荒川

10月20日観察 荒川を楽しむ会

今回は9月から1ヶ月後の荒川河川敷の植物の変化を報告します。

土手の上や道端にはキンエノコログサやチカラシバが風にそよぎ、河川敷のあちこちでセイタカアワダチソウの黄色い花が目立ち始めました。今月は種子や果実の発見が多く見られ、ここに載せていませんがイシミカワやスズメウリなど珍しいのもありました。

## 9月のアキノノゲシ (キク科)

## 10月のアキノノゲシ



たんぽぽの綿毛を小さくしたような冠毛を沢山つけた種子は、風によって広範囲に飛びます。レタスの仲間でもあり茎を切ると白い汁が出てきます

## 9月のカナムグラ (クワ科)

## 10月のカナムグラ



9月は蕾

雄花

雌花

ツル性で他のものに絡みつきながら長く伸び、繁殖が強く、茎が針金のように丈夫なので漢字では{鉄葎}と表します。

雌雄異株で雄花はたくさん集まって円すい状の花が付き、雌花は球場の花になります

## 9月のアメリカヌホオズキ (ナス科)

## 10月のアメリカヌホオズキ



可愛い白や淡紫色の花が咲くので見過ごしやすいのですが有毒な植物です。花後、緑色から熟すと黒くなる球形の果実をつけます。ナスやホオズキに似ているのですが役に立たないのでこの名がついています。植物にとってあまり有り難くない名前ですね。

## 9月のアレチウリ (ウリ科)



## 10月アレチウリ



荒地に生えるウリ、棘のある胡瓜ともいわれています。果実はとげ状の長い毛と軟毛に覆われ、金平糖のように数個に固まっています。花の可憐さとは別に、繁殖力が強く、在来の生態系を壊しかねないので、日本の「侵略的外来種ワースト100」に選定され、駆除すべき特定外来生物とされています。